



令和5年度

太田小だより 8・9月号

【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校
 令和5年7月21日（金）発行
 全校児童数579人



住所 さいたま市岩槻区仲町1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



楽しい夏休みをお迎えください

校長 田波 巨士

7月中旬から下旬にかけて、全国的に日中の気温が35℃を超えるような猛暑日が続きました。少しでも外に出ると、強烈な日差しでまさに溶けるような暑さです。今でもかなり暑いですが、関東では7月下旬に梅雨明けとなり、これから夏本番を迎えることになりそうです。学校では、常にエアコンを使用し室温を調整したり、随時水分の補給や屋外での活動を中止したりするなどして、子どもたちが熱中症にならないように留意しています。御家庭でも健康管理に十分お気を付けください。

さて、国内外で生成AI（人口知能）が加速度的に普及しています。報道等でもよく生成AIの仕組みや用途、メリット・デメリットなどについて話題に挙がっています。生成AIが活用できる分野として、画像生成、音声合成、テキスト生成、動画生成など様々あり、必要な情報を入力したり、過去のデータを学習したりすることで、新しい画像、音声、テキスト、動画などを生成することができます。私も生成AIを活用した写真集や観光PR動画、ゲーム等の作成例について、報道等で見たことがありますが、質だけでなく作業効率の向上やコスト削減などの面からも注目しています。

文科省では7/4に、生成AIの利用について小中高向けの暫定的なガイドラインを公表しました。これは、生成AIの急速な普及に対して、国としての一定の考え方を示したものです。文科省としては、夏休みの課題に生成AIが不適切に活用される懸念があるため、学校における活用の考え方をできるだけ早く示したとのことです。ガイドラインには小学校段階の利用には慎重な対応が必要だと明記されており、また利用が不適切な事例が示されています。例えば、「夏休みの読書感想文や各種コンクールの作品、レポート・小論文などで、生成AIによる生成物をそのまま成果物として応募・提出すること」、「定期考査や小テスト等で児童生徒に使わせること」、「児童生徒の学習評価を教師がAIからの出力のみをもって行うこと」などが挙げられています。

実際にテキスト生成AIを使って読書感想文を書けるのか、試してみました。埼玉県の推薦図書から低中高学年向けの3冊を選び、ひと通り読んだ後、「作者名、著書における自分が印象に残った言葉、自分が意図した条件（例：読書感想文、文字数、対象者など）」等を入力し、何度かAIと対話すると・・・十数秒程で読書感想文が提示されました。作成者が提示する条件にもよるようですが、ここまで早くすると文章が作成されることに大変驚きました。実際に流し読みでここまで書けたら驚きです。それも3冊分です。ただし、内容としては筋が通っていてよく分かるのですが、一般的というか例文やレポートのような印象を受けました。感想文を書く目的や意義については、読書する機会を増やし、書くことによって考えをより深めることにあります。どんな方法を使っても書ければよいということではなく、子ども一人ひとりがこれまでの学習経験や友達との交流、自分の個性、親の教えなどを生かし、それぞれの視点やその時の気持ちで書くことに価値があります。生成AIを使った感想文をそのまま安易に自分の作品とすることは、目的や意義から外れ、考えをより深めることにはつながらないのだろうと考えます。

生成AIは今後ますます発達、進化し、私たちの生活や教育活動に大きく影響してくることは明らかです。私は今回、試しに生成AIを使ってみましたが、生成AIの有効性を実感しながら、生成AIに頼り過ぎず、ツールとして活用するスキルを身に付けることや、生成AIが提示した情報を基に、自分なりの考えをまとめたり、自ら課題を発見したりすることが今後一層重要になるだろうと考えます。皆様はどのようにお考えになるでしょうか。

結びに、この1学期の間、大きな事故等もなく無事に終えることができました。保護者の皆様には、お子様を様々な面でサポートしていただいたこと、また地域の皆様には、子どもたちが安全に過ごすことができるよう見守っていただいたことなど、改めて感謝申し上げます。

暑さ厳しき折、保護者・地域の皆様には、お体ご自愛いただくとともに、夏休み中における御家庭・地域での子どもたちの見守りと励ましを何卒お願い申し上げます。